

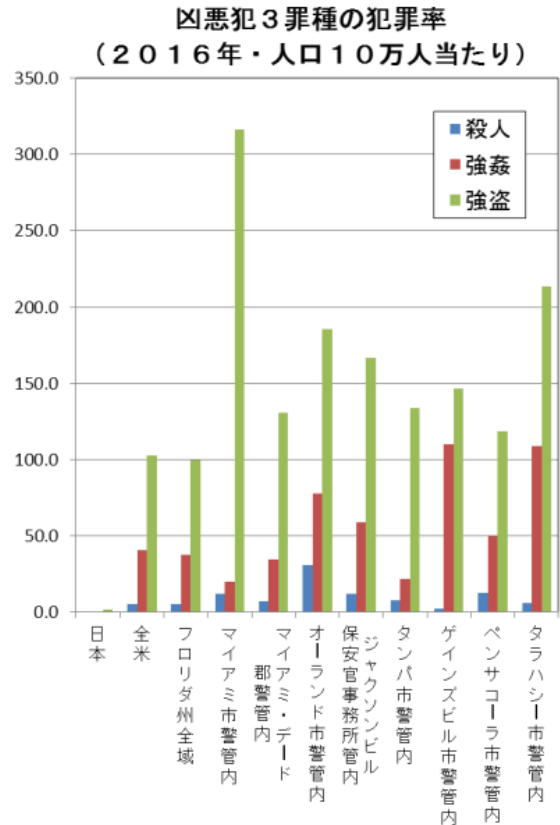
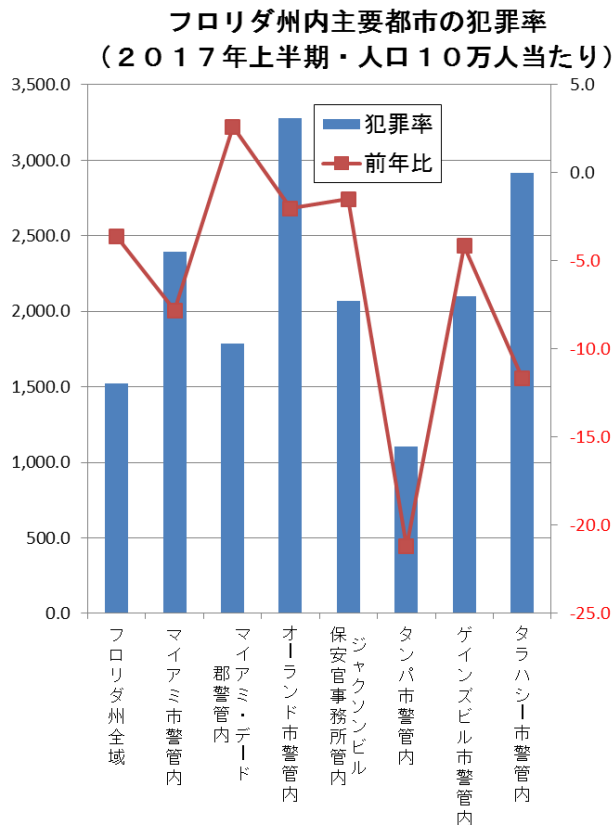
海外安全対策情報
(平成29年度第4四半期)

1. 社会・治安情勢

- (1) 今期中の2月14日午後、フロリダ州ブロード郡パークランドに所在するマージョリー・ストーンマン・ダグラス高校において、米国人男性（同校を退学処分となった元生徒）が校内に侵入し、火災報知器を作動させた上、避難しようとした生徒、教職員に向けて自動小銃を乱射するという銃乱射事件が発生し、17人が死亡したほか、10数人が負傷しました。
- (2) 報道等によれば、フロリダ州内では、都市部を中心に銃器を使用した殺人、強盗等の凶悪犯罪が恒常的に発生している上、強姦、暴行、窃盗といった各種犯罪も頻発しています。犯罪多発地域を避けて行動することはもちろん、比較的安全とされる地域においても、深夜の外出を控えたり、人通りの少ない場所を避けたりするなど、犯罪に巻き込まれないための自衛策を心掛けてください。また、外出時のみならず在宅中も常時施錠する、車内には貴重品を残すことなく確実に施錠する、などといった基礎的な防犯対策を怠らないよう平素から注意することも重要です。交通上の些細なトラブルから殺人、傷害、器物損壊等に発展する事案も多いことから、平素から防衛運転に努め、冷静さを保ち、口論等に巻き込まれないように十分気を付けてください。
- (3) 一般的に対日感情は良好です。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

フロリダ州法執行局等の統計資料によれば、2017年上半期の同州の犯罪率は、前年同期よりも改善傾向にあります。しかし、多くの日本人が居住・訪問する主要都市の多くは、高い犯罪率となっている上、凶悪犯3罪種（殺人・強姦・強盗）の犯罪率については、我が国を著しく上回っているのはもちろん、同州全域や全米との比較でも高い水準にあると言わざるを得ない状況となっています。



フロリダ州及び同州内主要都市における犯罪発生状況（2017年上半期）

地域	年/前年比	人口	犯罪件数	犯罪率 (10万人 当たり)	殺人	強姦	強盗	加重暴行	住居侵入	窃盗	車両盗
フロリダ州全域	2017年上半期	20,148,654	306,817	1,522.8	531	4,073	9,244	29,090	44,366	198,304	21,209
	前年比	1.7	-2.0	-3.6	-5.3	8.1	-4.6	-1.1	-8.3	-1.4	4.8
	2016年上半期	19,815,183	313,113	1,580.2	561	3,769	9,685	29,423	48,357	201,087	20,231
マイアミ 市警管内	2017年上半期	456,089	10,930	2,396.5	26	41	510	1,088	1,187	7,044	1,034
	前年比	3.8	-4.3	-7.8	-3.7	-6.8	-24.0	-10.2	-7.4	-3.6	16.7
	2016年上半期	439,509	11,426	2,599.7	27	44	671	1,211	1,282	7,305	886
マイアミ・デード 郡警管内	2017年上半期	1,176,731	21,011	1,785.5	47	242	734	2,078	2,115	13,961	1,834
	前年比	1.4	4.0	2.6	27.0	13.6	8.4	11.9	-0.8	1.9	15.8
	2016年上半期	1,160,457	20,194	1,740.2	37	213	677	1,857	2,131	13,695	1,584
オーランド 市警管内	2017年上半期	271,752	8,906	3,277.3	13	85	279	623	1,272	5,904	730
	前年比	3.3	1.3	-2.0	-80.0	0.0	16.3	-22.5	-10.5	5.3	28.1
	2016年上半期	262,949	8,794	3,344.4	65	85	240	804	1,421	5,609	570
ジャクソンビル 保安官事務所管内	2017年上半期	879,848	18,185	2,066.8	52	257	670	1,717	2,832	11,251	1,406
	前年比	2.0	0.5	-1.5	0.0	2.4	-4.7	-2.0	2.7	0.8	-1.1
	2016年上半期	862,637	18,098	2,098.0	52	251	703	1,752	2,758	11,160	1,422
タンパ 市警管内	2017年上半期	365,124	4,027	1,102.9	20	53	198	633	590	2,267	266
	前年比	1.9	-19.7	-21.2	66.7	23.3	-23.3	-5.7	-22.5	-22.3	-24.6
	2016年上半期	358,279	5,015	1,399.7	12	43	258	671	761	2,917	353
ゲインズビル 市警管内	2017年上半期	128,612	2,697	2,097.0	2	81	94	295	229	1,854	142
	前年比	0.5	-3.6	-4.1	-33.3	42.1	13.3	6.5	-25.4	-3.9	0.0
	2016年上半期	127,955	2,799	2,187.5	3	57	83	277	307	1,930	142
ペンサコーラ 市警管内	2017年上半期	53,690	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	前年比	1.2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	2016年上半期	53,058	1,282	2,416.2	2	13	37	134	181	871	44
タラハシー 市警管内	2017年上半期	189,675	5,528	2,914.5	6	103	203	579	762	3,507	368
	前年比	0.9	-10.9	-11.7	50.0	-1.0	1.5	5.5	-26.4	-7.1	-31.0
	2016年上半期	187,996	6,202	3,299.5	4	104	200	549	1,036	3,777	532

※以上出典：(フロリダ州内) Florida Department of Law Enforcement, “2017/2016 Semi-Annual Uniform Crime Reports, County and Municipal Offense Data” (ただし、人口にあっては、同 “2016/2015 Annual Uniform Crime Reports, County and Municipal Offense Data”。また、FDLE の公開資料では、2017年上半期のペンサコーラ市警管内の数値が「未報告」とされているため、前記のグラフ及び表から割愛した。)

(全米) Federal Bureau of Investigation, Uniform Crime Reporting, “Crime in the United States 2016”

(日本) 国家公安委員会・警察庁, 平成29年警察白書, “統計資料2-2及び2-4”

3. テロ・爆弾事件発生状況

- これまでのところ、フロリダ州におけるテロに係る具体的な脅威情報には接していませんが、2016年6月のオーランド市内における銃乱射事件(死者49人、負傷者53人)に関する治安当局の発表及び報道等によれば、犯人については、犯行中に国外のテロ組織に言及するなど、国外のテロ組織によって感化され、過激化した兆候が強く認められる模様です。また、この事件に関連して、同年9月、犯人が立ち寄っていたフォート・ピアスに所在するモスクに対する放火事件が発生しました。
- また、報道によると、昨年10月、マイアミ市西部に所在する大型ショッピング・モールのフードコートの爆破を計画したとして、ホンジュラス国籍の男が連邦捜査局のおとり捜査によって逮捕されました。同人と国外の過激派組織との直接的な関係を示す証拠はない一方、ISILを支持する内容の同人による複数の動画の所在が判明した模様です。
- 米国内では、昨年6月にミシガン州ビショップ国際空港における警察官襲撃事件、昨年10月にニューヨーク州マンハッタンにおける車両突入事件、昨年12月にニューヨーク州マンハッタンにおける爆弾テロ事件が相次いで発生しており、これらの犯人は、イスラム過激主義に関係しているものとみられています。
- その他、最近では欧米諸国を含む世界の様々な地域でテロ事件が発生しており、今後、日本人・日本権益が標的となる事案が発生する可能性も否定できません。また、イスラム過激派やこれらの主張に影響を受けた一匹狼(ローンウルフ)によって、繁華街、観光地、各種イベント会場、公共交通機関といった、不特定多数の人々が集まり警備態勢の脆弱なソフト・ターゲットを狙ったテロも世界各地で増加しており、日本人がこれらに巻き込まれることが懸念されます。
- つきましては、こうした厳しいテロ情勢に十分留意するとともに、テロ事件や銃乱射事件といった不測の事態に巻き込まれることのないよう、平素から外務省が発出する海外安全情報、米国土安全保障省テロ関連情報サイト、報道等に注意を払いつつ、最新の治安関連情報の入手に努めるとともに、日頃から危機管理意識を持って自らの安全確保に努めてください。また、テロの

標的となりやすい場所（イベント会場、公共交通機関、観光施設等不特定多数が集まる場所、軍・警察・政府関係施設等）を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる、できるだけ滞在時間を短くするなど、安全確保に十分注意してください。また、各種抗議デモや集会等、不特定多数の人々が参集している状況等を見かけた場合は、決して興味本位で近付くことなく、その場から速やかに離れるようにしてください。

4. 誘拐・脅迫事件発生情報

日本人の被害に係る情報には接していません。

5. 日本企業の安全に関わる諸問題

特異動向に係る情報には接していません。